

5 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	杉本 孝	参加 メンバー	CL:山田 明 SL:天野 広 不破 孝浩 油井 武 杉本 孝 計 5 名
		報告日	06 / 11		
山 域	恵那山	山行日	08 年 05 月 24 日(土) ~		
山 名	恵那山		08 年 05 月 25 日(日)		
山行目的	やまびこ祭	コースタイム (天候: 天気図記号)			

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー -
原紙: 集会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図:

05/24 曇り/雨
06:00 デンソ-本社 P 発
07:50 車両通行止めの標識横の P 着
08:21 広河原登山口
09:00 一本
09:05 発
10:00 一本
11:00 山頂着 (仮の山頂)
11:10 恵那山ウエストン公園祭のイベントでココアを頂戴する
11:35 本当の山頂着
11:46 下山開始
13:47 広河原登山口
14:10 車両通行止めの標識横の P 着
途中温泉に立ち寄る
16:05 赤まんまロッジ着

05/25 雨/曇り
09:10 赤まんまロッジ 発
11:00 デンソ-本社 P 着
解散

山行報告 天候が週末から崩れてくる事を心配しながら、土曜日の朝を迎えた。何とか午前中は持ちそうな感じた。当初予定していた、黒井沢登山口が、落石の為通行止めとなり、急遽広河原登山口から入る事になる。登山口までは車では行けず、その2km 手前の駐車場から歩く事になる。歩いていると、不破さんが「シカがいる」と言うので見てみると、なんと日本カモシカが道のすぐ横の河原沿いにはいるではないか。こんなに近くで見られるなんてラッキーである。まして、そのカモシカは子供であり、警戒心が無いのか、逃げることも無く、カメラを向けると機嫌よくこちらを向いてくれ、ポーズもバッチシ。但し、私のカメラで撮ったのではないが、名残惜しいが、天気も心配なので先を急ぐ。10 分も歩くと、広河原登山口に入る。ここからは山道になるのだが、地面が土なので足にも優しく、登りやすかった。登りだしてから 1 時間 30 分程しないと、まったくと言って良いほど、眺望は望めない。ようやく視界が開けた所は、北にスキー場らしきもの(ヘブンそのはら、スノーワールド)が見え、小高い山々が見えてやっと、登ってきたなぁーという感じであった。このあたりから、風も出てきて、雨が降りそうな雰囲気になっていった。その後、頂上(仮の頂上らしい)に辿り着くと、右手に南アルプスか中央アルプスかわからないが、山々が見えて、左手に御嶽山が運良く顔を覗かせてくれた。その後歩く事 10 分、山小屋があり、「恵那山ウエストン公園祭」というイベントをやっており、ココアを振る舞っていたので、皆で1杯ずつ頂くことにする。甘くて、疲れた体には丁度よかった。さらに数分歩くこと、本当の頂上に到達。先程より雲も多くなり、景

色もどんよりとしてきた。雨が降らないうちに足早に頂上を去る事にする。下山は、皆、足が軽いのか、休憩も無しで一気に降りてきた。岩場が殆ど無い為、足の負担は少なかったかも知れないが、それでも私は、膝への負担はやはりあった。途中小雨がパラパラしてきたが、濡れている感じは無い。下り始めて2 時間、広河原登山口に出る。その頃には雨も本降りになっていたが、天気予報とは裏腹に、雨にもそう降られず、寒くも無く、暑くも無い、適した山登りである。

リーダー所見 早い出発、迅速な行動が効を奏し、雨が降る前に下山することが出来た。現役、OB 共に、メンバーの体力が充実しており、いいペースの山行であった。今回は広河原ルートに変更になったが、歩行距離が丁度よく、道が良く整備されていて、展望も良かった。今後もこのルートを採用していきたい。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

確認 (リーダー)
山
08/06/09
田
作成 (報告者)
杉
08/06/06
本